

とみぐすく ハッピープラン 2025

概要版

地域福祉とは



住民・団体・行政・関係者など、
地域 みんなが協力し合って困り
ごとを解決しようというものです。

この計画では



地域のつながり・支え合いを向
上させるため、住民の地域参加を
促進するとともに、「複雑化・複合
化」した困りごとを抱える家庭へ
の支援を、社会全体で行っていく
ことを目的としています。

そして、「支える側」「支えられる
側」という関係を超えて、人と人、
人と社会がつながっていく「地域共
生社会の実現」を目指しています。

安心してくらすために

生活が便利
(買い物など)

教育が
整っている

福祉サービスが
充実している

道路や交通の
便がいい

医療が
充実している



つながり



あいさつ

見守り
子ども・高齢者

災害時の
助け合い

不審者対策

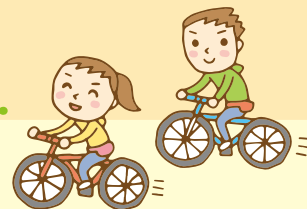
地域清掃



地域のつながりがあるととっても安心

地域共生社会とは

地域住民や地域の多様な主体が分野や属性の壁を越えてつながり、
誰もが支え合う地域をつくっていくことを目指すものです。



計画の基本理念

お互いを認め合い、一人ひとりがつながる優しさの輪、 みんなで支える地域福祉のまちづくり

市民一人ひとりの多様性が尊重されながら、お互いが支え合いを実践する小さな輪を広げ、人と人が創り出すちから（福祉力）、地域と人で創り出す地域の力（地域力）に支えられ、いつまでも安心して暮らし続けていくことができるまちづくりを進めていきます。

- ◆ 一人ひとりがお互いを支え助け合いながら、自分らしく自立し、安心して暮らしていける環境や、これからも住み続けたいと思える地域社会であるために、一人の思いをみんなで支える仕組みを作ります。
- ◆ 性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、宗教、性的指向などの様々な特徴や特性をお互いに認め合い、尊重し合いながら共存していく地域社会を作ります。

計画の包含

この計画には、地域共生社会を目指す観点から、困りごとを抱える人たちを支えるための、以下の3つの計画も含めて策定しています。

第4次豊見城市地域福祉計画・地域福祉活動計画

豊見城市 成年後見制度 利用促進基本計画

認知症や知的・精神障がいにより、財産管理や日常生活に支障がある人の法律行為を支えるため後見人をおいて支援する仕組みを推進する計画です。

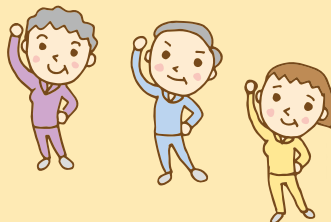
豊見城市 自殺対策計画

全ての市民がかけがえのない個人として尊重され、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向け、自殺対策を推進する計画です。

豊見城市 再犯防止推進計画

犯罪や非行をした者が社会復帰し、自立していくため、再び犯罪を起こさないように支援を推進する計画です。

計画内容の全体像



基本理念

お互いを認め合い、一人ひとりがつながる優しさの輪、みんなで支える地域福祉のまちづくり

基本目標 1

住民の主体的参加の 仕組みづくり

- 1. 人と人がつながる、支え合う意識を育む**
 - (1) 地域福祉への関心を高める福祉教育の充実
 - (2) 地域活動への参加を促す環境づくり
- 2. 地域がつながる、活力をつける**
 - (1) 地域活動の活性化の推進
 - (2) 自治会の活性化推進
- 3. 地域福祉の人材の育成、確保**
 - (1) 福祉を担う多様な担い手の育成
 - (2) ボランティア活動の活性化支援

基本目標 2

地域に根ざした 支え合いの 仕組みづくり

- 1. 地域支え合いの体制づくり**
 - (1) 地域見守りネットワークの充実
 - (2) 気軽な居場所の確保
 - (3) コミュニティソーシャルワーク機能の充実
- 2. 地域資源と福祉活動をつなげる仕組みづくり**
 - (1) 利用しやすい活動拠点の確保、整備
 - (2) 福祉関係団体や機関等の連携
 - (3) 民生委員・児童委員活動の充実

基本目標 3

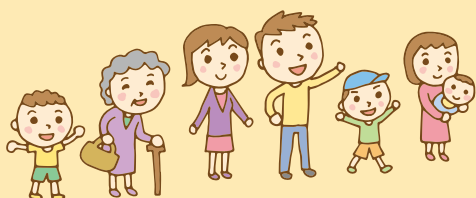
複雑化・複合化した 課題に応える 支援体制づくり

- 1. 包括的に支援を行う体制整備の推進**
 - (1) 包括的相談支援体制の整備
 - (2) 福祉情報提供体制の充実
 - (3) 福祉サービスの質の向上
- 2. 誰一人取り残さない支援体制の推進**
 - (1) 権利擁護支援の充実(豊見城市成年後見制度利用促進基本計画)
 - (2) 生活困窮世帯への自立支援策の推進
 - (3) 自殺対策の推進(豊見城市自殺対策計画)
 - (4) 再犯防止対策の推進(豊見城市再犯防止推進計画)
 - (5) 個人の尊厳と権利を守る仕組みづくり

基本目標 4

健康で安心して 暮らせるまちづくり

- 1. 健康づくりへの取り組み**
 - (1) 健康づくりに対する理解の促進
 - (2) 健康づくりの場の整備
- 2. 安全・安心のまちづくり**
 - (1) 住みよい生活環境づくりの推進
 - (2) 移動支援、交通安全対策の充実
 - (3) 地域の防犯・防災対策の充実
 - (4) 避難行動要支援者(高齢者・障がい者)への支援対策の充実



取り組みのポイント

行政と豊見城市社会福祉協議会が協働し
一体的にサービスの提供や支援を行います。



豊見城市社会福祉協議会の役割



豊見城市の役割

基本目標 1 住民の主体的参加の仕組みづくり

●人と人がつながる、支え合う意識を育む

地域活動への参加を促す環境づくり

- ・子どもから高齢者までの見守り活動の普及啓発活動
- ・気軽に集まる交流の機会、場の確保

●地域がつながる、活力をつける

地域活動の活性化の推進

- ・社会教育関係団体等への活動支援
- ・市内企業の地域福祉活動への参加促進
- ・自治会の活性化支援
- ・市内社会福祉法人の連携機会の確保
- ・地域福祉推進委員会への活動支援
- ・自治会の活性化への協力

基本目標 2 地域に根ざした支え合いの仕組みづくり

●地域支え合いの体制づくり

コミュニティソーシャルワーク機能の充実

- ・コミュニティソーシャルワーク活動の推進
- ・コミュニティソーシャルワーカーの資質向上
- ・アウトリーチを徹底した事業展開と支援ネットワークづくり

コミュニティソーシャルワーカーとは

地域の困りごとを解決するために、地域住民と一緒に考えたり行政や関係機関をつなぐ役になり地域福祉の向上を支援する人

基本目標 3 複雑化・複合化した課題に応える支援体制づくり

●包括的に支援を行う体制整備の推進

包括的相談支援体制の整備

- ・包括的相談支援体制の構築
- ・コミュニティソーシャルワーカーを中心とした相談支援体制の充実

包括的な支援とは

一人ひとりの状況に応じて、様々なサービスの提供や支援をきめ細かく行うことです。

●誰一人取り残さない支援体制の推進

権利擁護支援の充実(豊見城市成年後見制度利用促進基本計画)

- ・成年後見制度等の周知と利用支援の充実
- ・法人後見事業の充実

自殺対策の推進(豊見城市自殺対策計画)

- ・自殺対策を支える人材の育成
- ・自殺予防対策の推進

再犯防止対策の推進(豊見城市再犯防止推進計画)

- ・関係機関・団体と連携した立ち直り支援の実施
- ・再犯防止に関する理解と広報活動

成年後見とは

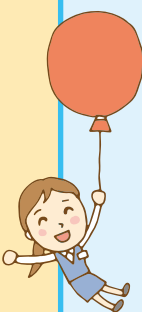
認知症などにより物事を判断する能力が十分でない方の権利を守ること

基本目標 4 健康で安心して暮らせるまちづくり

●安全・安心のまちづくり

避難行動要支援者(高齢者・障がい者)への支援対策の充実

- ・避難行動要支援者の登録名簿の作成推進
- ・避難行動要支援者の把握や情報共有に協力



地域福祉推進の具体的イメージ

地域福祉推進委員会とは？

一人ひとりが支え合って住みよい地域をつくっていくため、地域のかかえる福祉の問題などについて話し合い、地域ぐるみで活動をすすめていくための組織です。

①組織の強化・活性化

人材の確保

- ・住民の参加
- ・組織のリーダー育成

支援隊をつくる

自治会 地域活動参加アップ！
地域のつながりの必要性発信
行事を通しての地域のつながり確保

地域福祉推進委員会 … 活性化！
※どの地域も推進委員会が機能するように

組織間のネットワーク

- ・情報共有
- ・取り組みの報告会
- ・連携し合い機会づくり

組織

地域福祉の推進

つながり

②具体的な方法

モデル地区から取り組む

各地区がひとつ、「できること」から始める

あいさつ運動 花いっぱい運動 地域清掃

防犯活動 防災活動 見守り活動

「防犯」「防災」「見守り」は住民の関心事！
(地域のつながりが必要であると啓発)

子どもを中心として取り組む

子ども + 親世代

高齢者 も一緒に参加

世代を超えた
交流が図れる

支援隊をつくる

例)「1人暮らし見守り隊」「買い物支援隊」「傾聴ボランティア隊」など
地域にあったもの、必要なもの、住民の「やってみよう」などに合わせて組織化する

地域福祉に関して、市民のみなさんからは、こんな声がありました。

市民の声

～20才以上の市民へのアンケートより

●今後、市が重点を置くべき地域福祉の施策

→「いじめ、虐待、DVなどの早期発見・対応策の充実」や「生活困窮世帯の子どもへの支援」が求められています。

●地域の支え合いに期待すること

→「災害や緊急事態が起きた時の助け合い」や「一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ」という回答が多いです。

●近所づきあいの考え方について

→「地域の防犯のために必要」や「台風など災害が起こった時の助け合いのために必要」という回答が多いです。

子どもの声

～中学生へのアンケートより

●子どもや高齢者など、それぞれに合わせた取り組みを増やすと良いと思う

●市内での祭りやイベント等を増やして、様々な人と関わる場を作ったらいいと思う。

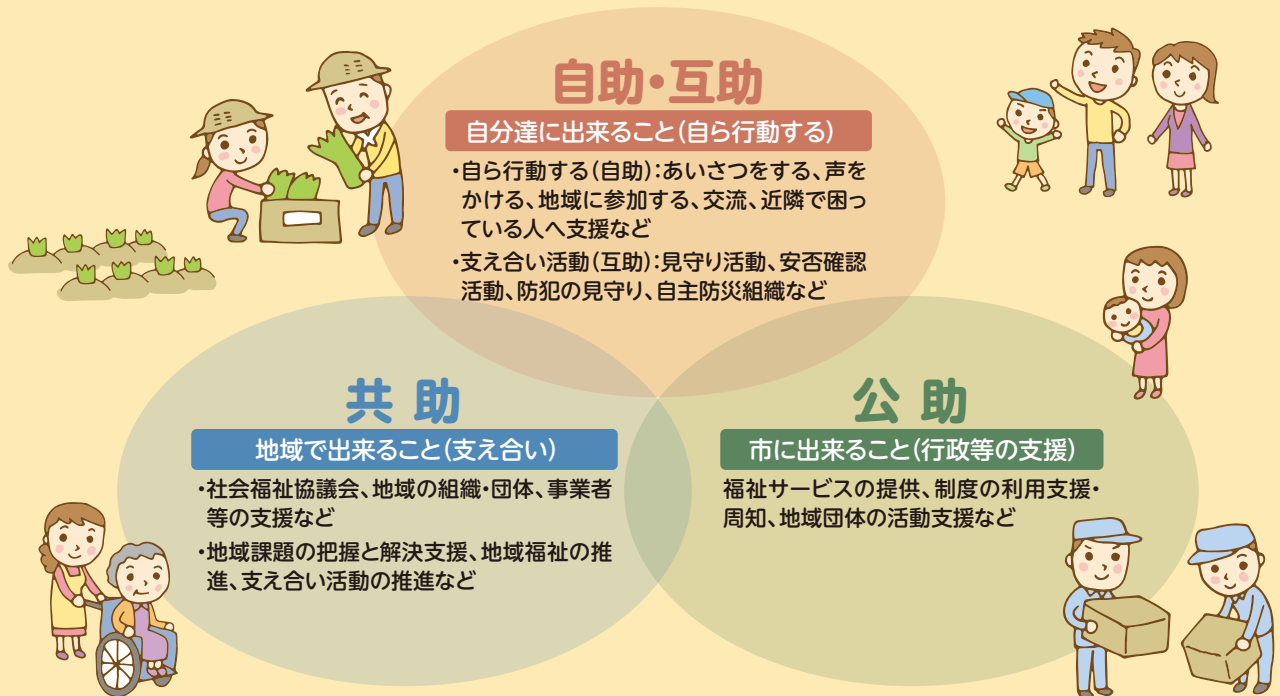
●近所の人との交流を増やす。何かあったときに顔見知りであることで助け合えるから。

●街灯が少ないところの防犯対策で、街灯をつけたり道を整備したりする。



豊見城市のみんながつながり、支え合いの「輪」を広げていきましょう。

「自助・互助」「共助」「公助」でつながる「輪」



地域みんなが関わる地域福祉の「輪」

